

三菱電機 パッケージエアコン

別売部品

取付説明書

ご注意

分岐管の種類および接続配管のサイズを間違えますと、空調機が所定の能力を発揮することができません。
 施工に際しましてはこの取付説明書を良くお読みになり、確実な工事を行っていただきますようお願いいたします。

R410A 冷媒対応機種用

2分岐 ジョイント (CMY-S102S-D, CMY-S102L-D, CMY-S202-D)

1 箱の中には下記の商品が入っています。作業を始める前にご確認ください。

CMY-S102S-D

①説明書	②2分岐ジョイント(小)	③2分岐ジョイント(大)	④カバー-1	⑤カバー-2	⑥パイプ3
液管用	ガス管用	液管用	ガス管用	ガス管用	ガス管用
本紙 1ヶ					
					OD19.05-ID15.88

CMY-S102L-D

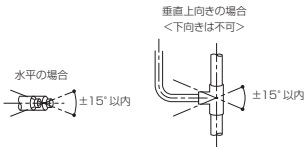
①説明書	②2分岐ジョイント(小)	③2分岐ジョイント(大)	④カバー-1	⑤カバー-2	⑥パイプ1	⑦パイプ3	⑧パイプ5	⑨パイプ6	⑩パイプ7	⑪パイプ8
液管用	ガス管用	液管用	ガス管用	液管用	ガス管用	ガス管用	ガス管用	ガス管用	ガス管用	ガス管用
本紙 1ヶ										
					OD12.7-ID9.52 2個	OD19.05-ID15.88	OD25.4-ID15.88	OD25.4-ID19.05	OD25.4-ID22.2	OD25.4-ID28.58

CMY-S202-D

①説明書	②2分岐ジョイント(小)	③2分岐ジョイント(大)	④カバー-1	⑤カバー-2	⑥パイプ1	⑦パイプ2	⑧パイプ9	⑨パイプ3	⑩パイプ4	⑪パイプ7	⑫パイプ8
液管用	ガス管用	液管用	ガス管用	液管用	ガス管用	液管用	液管用	ガス管用	ガス管用	ガス管用	ガス管用
本紙 1ヶ											
					OD12.7-ID9.52	OD15.88-ID12.7	OD15.88-ID9.52	OD19.05-ID15.88	OD19.05-ID22.2	OD25.4-ID22.2	OD25.4-ID28.58

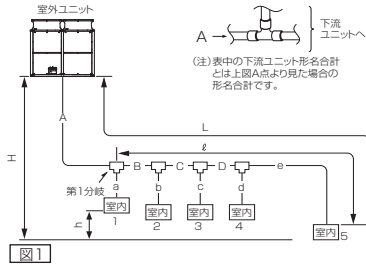
2 下記のことに注意して作業を行ってください。

- 表1の冷媒配管長制限を守ってください。
- 表2の室内ユニット据付制限を守ってください。
- 2分岐ジョイントと配管、又はパイプ⑥～⑪との接続はろう付で行ってください。ろう付は無酸化ろう付にて行ってください。
- 2分岐ジョイントにはストッパが付いています。接続するパイプが止まるまで奥に押し込んでください。
- 配管接続作業の際、配管内部にゴミ等の異物が入らないようにしてください。
- 冷媒配管には全て断熱材を施工してください。
- CMY-S202-Dのガス側の分岐管は水平または垂直上向き(下図)となるように取付けてください。その他のジョイントは取付姿勢についての制限はありません。



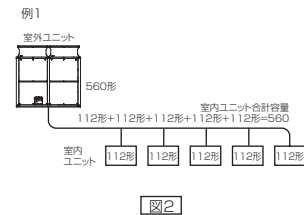
冷媒配管長制限

表1		
配管総延長	A+B+C+D+e a+b+c+d+e	300m以下
最速配管長(L)	A+B+C+D+e	150m以下 (P140形の場合は100m)
第1分岐部以降の最速配管長(e)	B+C+D+e	40m以下
室内ユニット- 室外ユニット間高低差	H	室外ユニットが上の場合 50m以下 (P140形の場合は30m以下) 室外ユニットが下の場合 外気温度≥0℃ 40m以下(制限時) -5℃≤外気温度<0℃ 15m以下(制限時)
室内ユニット- 室内ユニット間高低差	h	15m以下



室内ユニット据付制限

表2											
条件	セット形名	PCH-P140形	PCH-P224形	PCH-P224形	PCH-P280形	PCH-P280形	PCH-P450形	PCH-P450形	PCH-P560形	PCH-P560形	PCH-P560形
室内ユニット接続台数		1	1	2	1	2	4	2	4	2	5
室内ユニット容量		140形	224形	112形	280形	140形	224形	112形	280形	140形	112形
室内側合計容量		140	224	224	280	280	450	450	560	560	560
室外ユニット容量		140形	224形	224形	280形	280形	450形	450形	560形	560形	560形



3 冷媒配管サイズの選定および2分岐ジョイントの使い方

1. 接続する配管は現地に手配してください。
 2. 各部の配管サイズを「表3」「表4」「表5」により決定してください。
 3. 2分岐ジョイントは2項で選んだ全ての配管サイズに接続できるようになっています。配管サイズに合うように
 - ① 標準で使う。(補助パイプ不要で直接接続)
 - ② 補助パイプを接続して使う
 ことにより可能となります。
- 表3 および 表6、表11を参照して実施してください。
 パイプカッター等で配管を切断した場合、バリ取りを行った後ゴミ・異物を取り除き、配管を接続してください。

表11 2分岐ジョイント出入口配管寸法 (図3-A~C)

分岐ジョイント形名	配管寸法	A			B			C		
		液管	ガス管	パイプ	液管	ガス管	パイプ	液管	ガス管	パイプ
CMY-S102S-D	液管	φ9.52	φ9.52	φ9.52	φ9.52	φ9.52	φ9.52	φ9.52	φ9.52	φ9.52
	ガス管	φ19.05	φ19.05	φ19.05	φ19.05	φ19.05	φ19.05	φ19.05	φ19.05	φ19.05
CMY-S102L-D	液管	φ12.7	φ12.7	φ12.7	φ12.7	φ12.7	φ12.7	φ12.7	φ12.7	φ12.7
	ガス管	φ25.4	φ25.4	φ25.4	φ25.4	φ25.4	φ25.4	φ25.4	φ25.4	φ25.4
CMY-S202-D	液管	φ15.88	φ15.88	φ15.88	φ15.88	φ15.88	φ15.88	φ15.88	φ15.88	φ15.88
	ガス管	φ25.4	φ25.4	φ25.4	φ25.4	φ25.4	φ25.4	φ25.4	φ25.4	φ25.4

表8 分岐部~室内ユニット間 (図1-a~d)

分岐ジョイント形名	室内ユニット形名	P112形	P140形	P224形	P280形
CMY-S102S-D	液管	パイプ不要	-	-	-
	ガス管	パイプ不要	-	-	-
CMY-S102L-D	液管	パイプ不要	パイプ不要	パイプ不要	-
	ガス管	パイプφ3	パイプφ3	パイプφ3	パイプφ3
CMY-S202-D	液管	パイプφ3	パイプφ3	-	パイプφ3
	ガス管	パイプφ3	パイプφ3	-	パイプφ3

表9 分岐部~分岐部間 (図1-B~D)

分岐ジョイント形名	下流室内ユニットの合計管径	P224以下			P225~P336			P337以上		
		液管	ガス管	パイプ	液管	ガス管	パイプ	液管	ガス管	パイプ
CMY-S102S-D	液管	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ガス管	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CMY-S102L-D	液管	パイプφ1	パイプφ1	-	-	-	-	-	-	-
	ガス管	パイプφ6	パイプφ6	-	-	-	-	-	-	-
CMY-S202-D	液管	-	-	パイプφ2	-	-	-	-	-	-
	ガス管	-	-	パイプφ2	-	-	-	-	-	-

表10 分岐部~室内ユニット間 (図1-e)

分岐ジョイント形名	室内ユニット形名	P112形	P140形	P224形	P280形
CMY-S102S-D	液管	パイプ不要	-	-	-
	ガス管	パイプφ3	-	-	-
CMY-S102L-D	液管	-	パイプφ1	パイプφ1	-
	ガス管	-	パイプφ6	パイプφ6	-
CMY-S202-D	液管	-	-	-	パイプφ3
	ガス管	-	-	-	パイプφ3

表6 分岐部~分岐部間 (図1-B~D)

分岐ジョイント形名	下流室内ユニットの合計管径	P224以下			P225~P336			P337以上		
		液管	ガス管	パイプ	液管	ガス管	パイプ	液管	ガス管	パイプ
CMY-S102S-D	液管	パイプ不要	-	-	-	-	-	-	-	-
	ガス管	パイプ不要	-	-	-	-	-	-	-	-
CMY-S102L-D	液管	パイプφ1	パイプφ1	パイプφ1	-	-	-	-	-	-
	ガス管	-	パイプφ6	パイプφ6	-	-	-	-	-	-
CMY-S202-D	液管	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ガス管	-	-	-	-	-	-	-	-	-

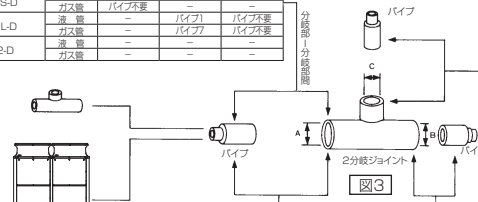


表7 室外ユニット~第1分岐部間 (図1-A)

分岐ジョイント形名	室外ユニット形名	P224形				P280形				P450形				P560形				
		液管	ガス管	パイプ	パイプ	液管	ガス管	パイプ	パイプ	液管	ガス管	パイプ	パイプ	液管	ガス管	パイプ	パイプ	
CMY-S102S-D	液管	パイプ不要	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ガス管	パイプφ3	パイプφ3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CMY-S102L-D	液管	-	パイプφ1	パイプφ1	パイプφ1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ガス管	-	パイプφ6	パイプφ6	パイプφ6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CMY-S202-D	液管	-	-	-	パイプφ2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ガス管	-	-	-	パイプφ2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表3 室外ユニット~第1分岐部間の配管サイズ (図1-A)

室外ユニット形名	液管	ガス管
P224形	φ9.52	φ19.05
P280形	φ9.52	φ22.2
P450形	φ12.7	φ28.58
P560形	φ15.88	φ28.58

*配管長が90m以上の場合はφ12.7にしてください。

表4 分岐部~分岐部間の配管サイズ (図1-B-C-D)

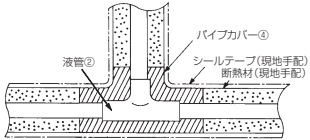
下流室内ユニットの合計管径	液管	ガス管
P224以下	φ9.52	φ19.05
P225~P336	φ9.52	φ22.2
P337以上	φ12.7	φ25.4

表5 分岐部~室内ユニット間の配管サイズ (図1-a~e)

室内ユニット形名	液管	ガス管
P112, P140形	φ9.52	φ15.88
P224形	φ9.52	φ19.05
P280形	φ9.52	φ22.2

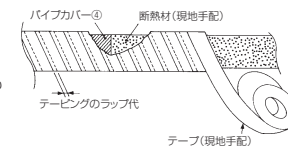
4 カバー(断熱材)の取付作業

図4 (液管の例)



- ・液管②をパイプカバー④に合わせるように取付けてください。パイプカバー④の合せ部は断熱材、シールテープ (いずれも現地手配) にてシールしてください。(図4参照)
- ・ガス管③も液管同様に作業してください。

図5



1. 冷媒配管 (現地手配) には全て断熱材を施工してください。また市販の断熱材を使用する場合は、耐熱性断熱材 (耐熱温度120℃以上) を使用してください。
2. パイプカバーは若干収縮しますので、パイプカバー④や現地断熱材にすき間ができないよう現地でのテーピングは図5に示すようにラップ代を設けて確実に施工してください。